

日本全国につながるレールに乗って

DF50 四国鉄道文化館に到着



11月26日(月)にオープンを控えた四国鉄道文化館に0系新幹線とともに展示品の目玉となる「DF50形電気式ディーゼル機関車」が搬入されました。

このDF50は1957(昭和32)年に製造された1号機で、「準鉄道記念物」に指定された大変貴重な車両です。

JR四国(株)のご厚意により、JR四国多度津工場で動態保存されていたDF50・1号機を無償で貸与いただくこととなり、11月6日未明、DF50は2台のディーゼル機関車にけん引されて四国鉄道文化館に到着しました。同日10時から、0系新幹線とDF50の貸与式が執り行われ、JR四国(株)・松田清宏社長から伊藤市長にDF50のハンドルの組み合わせた記念プレートが贈られました(上写真)。



▲11月6日の午前4時50分、2台のディーゼル機関車にけん引されたDF50はJR伊予西条駅に到着。



▲四国鉄道文化館は“日本の動脈”の一つである線路とつながった全国的にも珍しい施設。DF50はこの引き込み線を使って搬入されました。

11月26日(月)・14時、四国鉄道文化館オープン!!
鉄道史上に輝く“名車”に会いにいこう!



四国鉄道文化館に展示されている「0系新幹線」と「DF50・1号機」は、世界に誇れる日本の鉄道技術の歩みを物語る、貴重な証人たちです。

四国鉄道文化館で、その雄姿をぜひご覧ください。

前回の0系新幹線搬入に引き続き、この度のDF50・1号機の搬入につきましても、JR四国(株)の関係者各位をはじめ、多くの方々にご支援とご尽力を賜りました。ここに改めて、厚くお礼申し上げます。